



2p … 年頭あいさつ
議長 浅野 幹雄

3p … 台風15号河川災害復旧工事に
1億5299万円

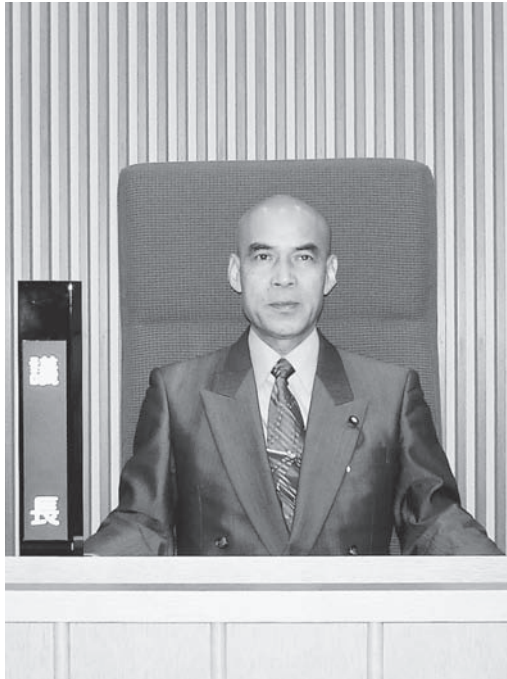
6p～… 一般質問

16p～… 委員会報告

とみ や だより 議会

No. 156

2012年(平成24年)
2月1日発行



市制施行準備元年と 位置づけ、飛躍の年に



平成24年の新春を迎え、町民の皆様にご挨拶して新年のご挨拶を申し上げます。皆様方には日頃より、富谷町の発展と議会活動に多大なるご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、各地に未曾有の被害をもたらしました。被災された皆様方に改めましてお見舞い申し上げます。また、わが身わが家の被災にも係らず、それぞれの分野で、復旧復興にご協力とご活躍を頂きましたこと、心より御礼申し上げます。さて富谷町の人口も昨年12月20日において4万9000

人に到達致しました。いよいよ本年中に市制施行の第一案件であります人口5万人をクリアすることとします。議会と致しましても、常に執行部とともに力をあわせながら、町民の皆様福祉の向上を最優先施策とし、平成27年に実施される次の国勢調査まで、市制施行への準備期間として取り組んでまいり所存でありますので、尚一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、富谷町の更なる発展と、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

富谷町議会議長

浅野 幹雄

12月定例会は、議員20人が出席して、12月6日から9日まで4日間の会期で開催されました。

平成23年度一般会計予算に4億3122万8000円を追加する補正予算を審議しました。

歳入の主なものは、災害復旧に関連した国庫負担金および補助金の追加などです。

歳出では、東日本大震災および台風15号に係る災害復旧事業への支出増、住宅修繕支援金および倒壊家屋等応急修理の追加、下水道事業特別会計繰出金の追加、公民館維持管理事業の減額が主なものです。

その他、各種会計補正予算、開発行為にともなう都市公園条例の一部改正、学校給食センター設置に関する条例の一部改正など、すべて原案どおり可決しました。

また、監査委員および固定資産評価審査委員の選任に同意しました。

さらに、議員提出による特別委員会の設置に関する決議も可決しました。

14人の議員が一般質問を行い、町政をたどしました。

台風15号 河川災害復旧工事に 1億5299万円

補正予算

おもなつかいみち

- 台風15号河川災害復旧工事
1億5,299万円
- 下水道事業特別会計繰出金
1億2,896万円
- 震災住宅修繕支援金他
9,524万円
- 町中会館新築整備事業
4,211万円
- マーチングバンド全国大会出場補助金
100万円



▲ 明石地区の崩落

- Q** 東日本大震災住宅修繕支援金の詳細は。
- A** 申請件数は、9月末で1318件です。今回の補正で3960万円追加します。
- Q** 企業立地促進奨励金と雇用促進奨励金の事業所と人数は。
- A** 事業所は、アクアクラみやぎ生協1社です。企業立地促進奨励金は278万円、雇用促進奨励金は20万円です。
- Q** 震災廃棄物等処理業務で、工事に手が回らず来年度に持ち越しても対象となりますか。
- A** 来年3月までの事業ですが、今後も廃棄物が見込まれますので、震災の緊急雇用交付金で対応します。
- Q** 屋外監視カメラ設置予定場所はどこですか。
- A** 武道館入口に1基予定しています。
- Q** 農業改良事業のビニールハウス設置補助の詳細は。
- A** 70坪、1棟分です。
- Q** 宮城県協働教育プラットフォーム事業とは。
- A** 目的は、家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくりです。地域教育力の向上、地域活性化を図り、地域全体で子どもを育てる体制をつくりたいです。

固定資産評価審査委員会委員に 高橋さんを再任



たかはし まさはる
高橋 征晴 さん

平成24年1月31日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、町長から提案された高橋征晴さん（志戸田）を再任することに同意しました。固定資産評価審査委員会は、固定資産税の運営をより一層公平かつ適正さを期するため、評価額の不服がある場合において審査します。任期は3年です。

代表監査委員に 阿部さんを再任



あべ いさお
阿部 功 さん

平成23年12月23日で任期満了となる代表監査委員に、町長から提案された阿部功さん（明石台2丁目）を再任することに同意しました。阿部さんは平成15年12月から代表監査委員を務め、今回3度目の選任となったものです。任期は4年です。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は3月上旬の予定です。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。TEL 358-0622

こんなことが決まりました

● 定例会ダイジェスト ●

第4回定例会

富谷町都市公園条例の一部改正	全員賛成
富谷町水道事業の設置等に関する条例の一部改正	全員賛成
富谷町学校給食センター設置に関する条例の一部改正	全員賛成
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成
平成 23 年度富谷町一般会計補正予算（第 4 号）	全員賛成
平成 23 年度富谷町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	全員賛成
平成 23 年度富谷町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	全員賛成
平成 23 年度富谷町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	全員賛成
平成 23 年度富谷町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成
平成 23 年度富谷町水道事業会計補正予算（第 3 号）	全員賛成
富谷町道路線の認定	全員賛成
監査委員の選任につき同意を求めること	賛成 14 人、反対 4 人
富谷町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること	賛成 15 人、反対 4 人
富谷町行政区長及び行政区長会の事務と職務権限に関する調査特別委員会の設置に関する決議	賛成 11 人、反対 8 人



次のページから一般質問

議会でより155
号の9ページ「西成
田コミュニティセン
ター子育てサロン条
例決まりました」に
誤りがありました。

お詫びと訂正

訂正してお詫び申し上げます。

正しくは、「開館時間は毎週日曜日・月曜日・祝日および年末年始を除く午前10時から午後3時」です。

議会の情報は
ホームページでも見られます。

富谷町公式ホームページ URL
<http://www.town.tomiya.miyagi.jp>

富谷町公式ホームページからリンクします

ただしたい

12月定例会の一般質問では、14人の議員が町の対応や考えをただしました。
この紙面では、通告順に各議員の質問と答弁の概要をお知らせします。



▲ 道の駅（村田町）



磯前 武
議員

魅力ある「道の駅」の整備を図れ

町長 設置に向け

基本調査を進めていく

なトイレ、非常食・飲料水の備蓄、停電時の非常用電源の確保等があります。あわせて、地域の特産物などの提供スペースを持ち、サービスエリアとしてさまざまな工夫がされています。

「道の駅」は一般道路沿いに24時間利用可能な一定数の駐車スペース、トイレ、情報提供施設を備えることが、登録の条件です。

平成16年10月に発生した新潟県中越地震を契機に、防災拠点機能も追加されました。断水時でも使用可能

本町は5万人都市目前です。仙台北部道路の国道4号へのタッチも間近、富谷インターチェンジの整備も急務です。道路に縁の深い富谷町、「道の駅」の設置整備について①「道の駅」の登録設置状況の認識②設置要件、手続き、補助金、整備要件がどのようになっていくのか③予算をつけ先進地を調査すべきと思うかどうか④富谷町の特産品で誇れるものと、「道の駅」の整備の方向性を質問します。

産業振興課長…①「道の駅」の登録状況は、全国で977カ所、東北では

町長…④ブルーベリーの長い歴史、県内最古の造り酒屋「内ヶ崎酒造店」があります。「道の駅」については一定の見解を出すべく方向性を詰めていきます。

町政のここを

町内全域に

防災行政無線の導入を

町長 導入に向けての検討を

次年度進める

東日本大震災は大災害となり、死者・行方不明者あわせて2万人に達する勢いです。奇跡的に助かった方からは、「怖かった、本当に助かってよかった。しかし今でも、もっと正しい情報があつたら被害はもっと少なかったのではないかと悔やまれる」という声が聞かれます。

災害時に最も重要なのは行政からの正しい情報です。情報は生死をも左右するといっても過言ではありません。

そこで私は、緊急時に情報を速やかに住民に伝える広報手段として、防災行政無線の導入を提案します。防災行政無線とは、いつ、どこで、何が起きて、何をすればいいのかを広く多くの住民にスピードを持って伝達するシステムです。

住民が本当にこの町に住んで良かったと思える、県内ナンバーワンの防災体制が求められています。導入に当たっては、億単位の予算処置が必要ですが、国家百年の計として

の町民の安心・安全のため、早期に予算計上すべきと考え質問します。

①今回の災害における防災広報等の課題は。

②今回の災害を教訓として、防災行政無線の導入についての考えと意思について問います。

町長：①災害時に町民の皆さんに瞬時に必要な情報を伝えられるかが大きな課題です。

②今回の震災を契機に、今が防災行政無線を取り

上げる時期と認識しています。防災行政無線の導入ですべてが解決するわけではありませんが、緊急を要する情報を即時に発信することから、これを超えるものはありません。何とか次年度、導入に向けて検討を進めてまいります。

その中で国の3次補正予算・消防防災通信基盤の緊急整備事業等交付金を活用して、設置に向けて進めます。



菅原 福治
議員



▲ 防災行政無線



長谷川 隆
議員

ふるさとまつりの

経済効果を問う

町長 経済効果の指標は

今後検討する

10月8日、9日に開催

された「十三夜魂のふるさとまつり」は5年目を迎え、ゴーカイジャーショーなど子ども向けの企画も充実し、来場者数も増え富谷町のまつりとして定着した感があります。

東日本大震災を体験した町民にとりまして、暗闇に揺れる1万1000個の手作りランタンの灯は、犠牲者に対する鎮魂の祈りの灯であり、復興への希望の灯でもあります。町民相互のふれあいと絆の大切さを痛感し、まつりの重要性を考え質

問します。

①950万円の運営事業費で収まりましたか。買い物や食事代など2万8000人の来場者で賑わった今回のまつりの経済効果をどのように考えますか。

②まつりの規模拡大のために、町内会や学校だけでなく、町内企業のランタン作品参加は考えていますか。

③まつりの写真を活用した町のオリジナル歳時記カレンダーを作成し、観光PRする考えはありますか。



▲ 十三夜 魂のふるさとまつり

町長…①経済効果をどの目安で比較するか難しいですが、出店の売り上げは昨年200万円ですが今年は500万円です。富谷町らしさを失わず、町民参加の満足をいただけるまつりとして続けていきます。経済効果については今後検討します。

企画部長…②ふるさとまつの趣旨は、町民総参加のまつりを第一にして

います。町内会や町内の小中学校のランタンアートをパワーアップしながら、企業参加も検討します。

③現在、まつりのポスターは2種類つくっています。ふるさとまつのPR効果ということで、カレンダーについては検証作業を今進めています。町民総参加のまつりとなるよう努力します。



渡邊 俊一
議員

宮床西成田線の渋滞緩和を急げ

町長 24年度予算で

スケジュール作成

我が町の道路整備事業については、町民要望を完全に満たすことは出来ずとも、限りある予算執行の枠の中で順調に計画実行されていると思われる一方、都市計画道路の整備がなかなか進まない現状が見受けられます。

特に重要な道路である、穀田大沢線の大清水地区以北の計画ですが、その整備が進むことにより、あけの平への交通量の流入を減らすことになり、あけの平住民の安全性が確保されると考えます。

とちの木地区の小中学生の安全通学においても、①あけの平、とちの木地区の安全・安心のため、



森 栄
議員



介護保険の状況と見直しを問う

福祉部長 介護事業状況は計画値どおり推移

介護保険制度は高齢者の増加に伴い、高齢者の介護を社会全体で支え合う制度として、平成12年

4月から実施されています。この制度により

高齢者保健福祉計画は、老人福祉法第20条の8で、また、介護保険事業計画は介護保険法第117条に基づき法定計画として

策定されています。富谷町高齢者保健福祉計画・第4期富谷町介護保険事業計画の実施状況と今後の見直しについて、①高齢者の推移②要介護等認定者数の推移③在宅サービスと施設サービスの推移④介護保険給付費の推移⑤介護保険サービスの状況⑥認知症者数の把握について質問します。

福祉部長

…①第4期計画数値と比較して、第1号被保険者、要介護認定者数、介護サービス利用者数、介護給付費とも、おおむね計画どおり推移しています。②第1号被保険者は、第4期計画値は6557人ですが、9月現在、6532人で高齢化率は13・4%です。要介護認定者数は第4期計画値で850人を見込んでいましたが、9月現在

899人、認定率12・8%で計画値を推移しています。③在宅サービスが568人、地域密着型が52人、施設サービスが139人で、計画値と同じ推移です。④年間推計値の総額を12億9502万6000円で見込んでいますが、9月の現在値では5億9107万円です。⑤介護保険法に基づき、介護事業計画を3年ごとに見直しをしており、現在、アンケートの課題分析とサービスの給付費と中身の分析を行い、第5期介護保険事業計画の骨格の確定に向けて作業中です。⑥認知症者数は、要介護認定者を拾えば把握できると思いますが、6500人の65歳以上の人で認知症者が何人いるかは把握していません。

都市計画道路大沢穀田線の整備を、町として年次計画策定のもと進める考えがあるか質問します。



▲宮床西成田線

②区画整理事業等の開発を、地権者にどのように促していくか問います。

③宮床西成田線の渋滞緩和のため、庁舎東側部の道路整備を急ぐ考えがあるか質問します。

町長…①熟度を高め、県に協力を得られるよう協議の準備をします。

②開発については地区の動向を見ながら、可能性を追求していきます。

③庁舎東側道路については、優先度をさらに高め、どのような計画で延長できるか、24年度予算の中に織り込んでいきます。



浅野 直子
議員

買い物弱者支援

直売など推進は

町長 継続課題とする認識です

経済産業省による買い物弱者対応マニュアルが公表され、全国各地でも積極的に取り組みが始まりました。自治体によっては、福祉計画の側面から考えているところもあります。あけの平・とちの木団地などスーパーの撤退により、買い物に不便さを感じている高齢者の方も多くいます。大型商店などの進出に伴い、人口増加も加速している現状で、個人商店や農作

物など住民の暮らせる環境をきめ細やかに整え、買い物が困難な方々にも利用拡大が出来るように、直売・移動販売・宅配などの推進について、行政として指導する考えはあるか質問します。

町長 買い物に出向けない方の状態、この先の将来を町としてフォローしていくか、この辺の課題については継続して取り組んでいく必要があると認識しています。

町優良工事を表彰せよ

町長 町は官民の表彰は現状ではしない

富谷町発注工事で、優良建設工事施工業者の表彰について、

- ①優良工事施工業者の表彰実績は。
- ②町が入札参加登録で総合評価を付与する条件は。
- ③優良工事施工業者を表彰する考えはあるか質問します。

町長 ①平成9年まではしていましたが、10年以上はありません。

②総合評価方式の中で、優良工事表彰を除き、技術力・社会性・地域性などを採用しています。

③官民の中で、優良業者の表彰を復活させる余地は現状ではありません。

変則町界を変更できないか

町長 町境界の等価交換はむずかしい

日吉台ともみじヶ丘、杜乃橋と杜乃丘の富谷町と大和町の境界が変則で、管理防犯の課題があり、

①正確な町境界は。

②緑地帯の管理状況は。

③管理しやすい境界に等価交換できないか質問し



▲ 日吉台二丁目

ます。

町長 当時の組合事業の中で、あのような形状になったのは不可思議ですが、現状はなかなか回復しきれない状況にあります。

①標識表示があり、富ヶ丘から来て、のりこ小児科から歩道を含め大和町の町道で、生協や日吉台中学校前も、そして信号

②非常に難しい中で大和町と協議し、住民の声を聞き、除伐して見通しを良くしています。

③現状では厳しいですが、事務手続きも含め、住民に不便のないよう維持管理していきます。

機のある交差点までが大和町の町道です。認識のないまま通行していることと思います。

②非常に難しい中で大和町と協議し、住民の声を聞き、除伐して見通しを良くしています。

③現状では厳しいですが、事務手続きも含め、住民に不便のないよう維持管理していきます。

芝生化で

潤いのある公園の整備を

町長 維持管理の面からの課題

公園整備の面から、では考えはないか質問します。こぼこなコンクリートがむき出しになっていたり、雨などにより側溝に砂が流れて大変な公園があります。憩いの場所として、利用価値のある公園として、試験的に1カ所でも芝生化の方向性、方針の

考えはないか質問します。

町長：芝生がいい公園、土でもいい公園どちらも

考えはあります。雨などの折、土砂の流失などで考えるなら、改善していかなければならないという認識です。



▲ あけの平二丁目公園

児童クラブ

規模改善が必要では

教育長 ガイドライン

最低基準ではない

①町の児童クラブは、県が示すガイドラインによ



▲ 児童クラブ（富谷中央公民館）

70人ですが、町の児童クラブの規模は最大70人です。場合、超過しているので改善が必要ではあります。②専用の静養スペースではなく、事務室等の利用は問題では

ありませんか。

③成田東小学校に近い場所での児童クラブ実施の検討はどうなりましたか。

④児童クラブは児童館・児童センターなどの児童専用施設で実施すべきと考え質問します。

⑤成田東小学校には余裕教室がなく、プレハブ建設も困難です。アンダーパスを通らず地上から成田公民館に行けるよう検討しています。

⑥将来的には多方面の検討をし、そのなかでよりよい児童クラブを目指すという考えはあります。

どうする町内業者の仕事おこし

町長 引き続き商工会と

協調連携で

①町内業者の仕事おこし、数調査も必要であると考

え、質問します。

町長：①住宅リフォーム助成制度の創設は考えていません。

②状況把握は、商工会と協調連携で引き続き進めていきます。



佐藤 聖子
議員



▲ 成田中学校



三浦 邦夫
議員

富谷町の中学校部活動を問う

教育長 部活動の環境整備を 図っていく

子どもから青年期への人生の一番大切な時期にく、人間として大きく成長できる

か、指導者との出会いは、指導者の悩み負担をどう考へていきますか③種目の多様性もあり、学校に無い部活動を希望している生徒の今後の生かし方を考へていきますか④特に野球など技術指導はもちろんのこと、攻撃面守備面などその場に応じた非常に難しい種目は、絶対に指導者講習会が必要と考へますがどうですか⑤富谷町総合計画H22～H24実施計画にあるスポーツ団

だと思えます。運動部の顧問になりたがらない教員も多くなっていると聞きます。経験のあるスポーツを持ってない場合もあり、業務負担と部活動の両立等を含む悩みを抱えている教員も多い中、町としての考えを問います。①各中学校の部活動の現状と教員の配置状況、指導時間や活動場所を把握していますか②経験のない部活動を持つている教員の悩み負担をどう考へていきますか③種目の多様性もあり、学校に無い部活動を希望している生徒の今後の生かし方を考へていきますか④特に野球など技術指導はもちろんのこと、攻撃面守備面などその場に

応じた非常に難しい種目は、絶対に指導者講習会が必要と考へますがどうですか⑤富谷町総合計画H22～H24実施計画にあるスポーツ団

とありましたが進捗状況は⑦以前の答弁で、スポーツ推進審議会に諮りながら、意見を聞きながらなどとなりましたが、スポーツ推進プログラムを出す事が必要と考へ質問します。

教育長…①部活動の現状はおおむね把握していま

す②同僚との連携交流を図り指導しています③各中学校において配慮しています④次年度より積極的に実施に努めたいと思

います⑤主に体育協会、スポーツ少年団、スポーツ普及員に係る謝礼などです⑥調査研究を進めています⑦委員の人選を終え12月に委嘱し、会議を今月開催します。

通学路の安全対策を急げ

町長 関係機関に改善を要望します



永野 久子
議員

上桜木地区児童の通学路については、①カインズホーム北側道路にロードヒーティングの実施②国道4号を横断して富ヶ丘に渡る歩道橋の設置を国に要請すべきではありませんか。

町長…①凍結防止剤、融雪剤で対応します。②ひきつづき関係機関に改善要望を行います。

建設部長…③路側帯にカラー舗装をし、外側線にポールを立てるなどの対策を検討します。

総合防災対策監…④定期信号への変更は慎重な検討が必要です。⑤抜本的な解決策を含め、仙台市、泉警察署と協議を進めていきます。⑥今後、対策を協議したいと思

います。⑤朝の30分間に428台もの車が通過する東向陽台中学校東南角の丁字路に、信号機の設置や⑥当



出川 博一
議員



総合計画を三期に分ける考えは

町長 提言を受け

弾力的に進めていく

平成21年に平成30年度までの富谷町総合計画が作成され、5年間の前期基本計画を遂行中です。

現在3年目となり東日本大震災、明石台東の開発等大きな変化があるなか、次の提案をし、質問します。

前期計画は24年度までとし、町制50周年の25年度から27年度を中期、27年10月の国勢調査を踏まえ28年度から30年度を後期

計画とすべきと考え、町長の見解を求めます。

町長：地方自治法の改正により本年8月から町の基本構想の策定義務が撤廃されましたが、総合計画は推進していきます。計画の変更は、基本的

には柔軟に弾力的に対応することに異議はありません。今回の大震災、また50周年、5万人へと変動・変化の兆しがあり、今の提案についても十分検討し必要な時期にお示しいたします。

3・11震災取りまとめの進捗は

町長 年度内取りまとめで

鋭意取組中

今回の大規模な災害により弱点や多くの課題が浮き彫りになりました。

町長は「東日本大震災に関するすべての事項について検証作業を進め、富

谷町の対応と課題として年内中をめどに取りまとめめる」と表明しております。今後の防災対策に関連し①報告書取りまとめの進捗状況②防災対策の予算措置を問います。

町長：①取りまとめは6

月の議会では年内としましたが、全くオリジナルな取り組みであり、「富谷町3・11東日本大震災の記録」とし、年度内編集で準備しています。

②9月補正予算の対応で備蓄品として約1350万円、アルファ米・ク

ラッカー・保存水・携行缶等備品・大型発電機16台は、当座の補充として配置を終えています。

待機児解消と

自然エネ導入を問う

子育て支援課長 建てかえ準備中

自然エネを導入

10月末時点で待機児は84人に上り、4割がゼロ歳児です。

①東向陽台保育所の建てかえ時期と場

所、自然エネルギーシステムの導入を求め、対応を質問します。

②若樹の森保育園は定員210人になります。マンモス

を質問します。

状態は安全上問題ではないか質問します。

子育て支援課長：①平成25年4月、明石台東地区に開所を準備中です。

②安全については十分に配慮していきます。

町長：①自然エネルギーを導入します。



▲ 東向陽台保育所



小川 昌義
議員

富谷町の緑あふれる

まちづくりは

町長 緑化基本計画はありません

緑化は、緑陰を形成しうになつていきますか。夏の日差しを和らげ、周囲の気温上昇を抑えることでヒートアイランド現象の緩和やCO₂を吸収し、地球温暖化を防止します。環境問題を含めて緑化運動を進めるべきと考えますが計画はどのよう

町長 緑化基本計画はありませんが、国の計画に沿って実施していきます。緑化基本計画はありませ



▲ 東向陽台二丁目



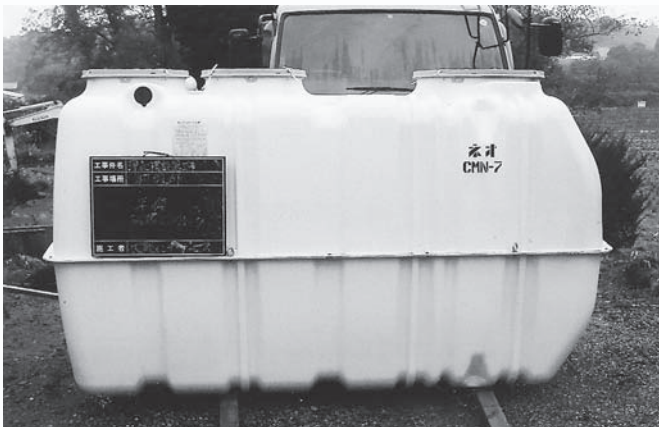
高橋 正俊
議員

合併処理浄化槽設置を推進せよ

町長 十分見きわめ

次年度対応とします

町では、生活排水処理率が100%を目指すとし、水が堀や川に流出し、環境破壊につながっている状態なので、一日も早い



▲ 合併処理浄化槽

改善が必要と思われます。今後の対応について質問します。

町長 現在、合併処理浄化槽設置の助成制度がありますが、今までは微々

たる進捗というようなことになるので、その先を十分見きわめながら次年度対応とさせていただきます。

市制に向け職員を増員するのか

町長 退職者の補充

プラスアルファです

新たな業務が増えることと職員の増員が予想されます。そこで次の点を問います。①今後職員の増員はありますか②これまでの職員採用の要件・基準はどうですか③今後の採用の要件・基準はどうですか④社会教育主事の有資格者を21年4月に採用しましたが⑤50歳を過ぎた人を採用していますが、誰かの強い要請があったのではないかと質問します。

町長 ①職員の職務状況や分量などを含め勘案し、

退職者の補充プラスアルファでやっていきます。②③一次試験は県町村会へ委託し、二次試験は作文、論文、漢字、時事用語、英語の筆記試験をし、面接試験を町長以下三役と総務部長とで行っております。⑤臨時職員、パート職員から何の手続きも無いまま正規職員になった人は、私が町長になってからは一人もいません。

総務部長 ④20年度で社会人の行政事務募集をしました。

サイバー攻撃で

情報漏えい対策は

総務部長

対策は取っています

衆・参議院に情報漏え

総務部長…サイバー攻撃

いが発覚しました。富士
通社にサイバー攻撃があ
りました。町の対策を質
問します。

大震災

次年度以降の通信対策は

総務部長

あらゆる通信手段を
検討しています

総務部長…災害を経験し

平成23年度情報通信白
書でも指摘しているとお
り、アナログ系、FM系、
デジタル系など災害時の
通信手段確保が大切です。
次年度以降の対策を質問
します。

達ができるように検討し
ています。

学校給食の食材の放射能検査を

町長

γ線スペクトロメータ配備で
検討

原発事故による放射能
拡散に、国民は不安を抱
いています。安全と安心

行政と

住民が一
緒に進め
ることが
大事です。

一つ一つ
丁寧な情
報を示し、
不安を取
り除くこ
とが肝要
です。さ
らなる放
射能対策



▲放射線測定器（栗原市南部学校給食センター）

を図るべきです。

町長…①放射能測定器の

①学校給食で実際に使用
される食材の放射能検査
を行うための、新学校給
食センターへの放射能測
定器の配備について。

②放射線量測定で、住民
の要望に応じる出前測定
の実施を質問します。

女性や高齢者等

防災対策に参画を

町長 会議の構成員にしたいと
思います

東日本大震災で、着替
え場所がない、授乳ス
ペースがないなど、災害
時の女性の視点の大切さ
が浮き彫りになりました。

④町内会集会所への太陽
光発電システムの設置に
ついて質問します。

町長…①質問の趣旨に沿
い、防災会議の構成員に
組み込んでいきたいと思
います。

②避難所HUGの要素も
含めた訓練を進めていき
ます。

③検討します。

安住 稔幸
議員

※避難所HUGとは…避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプリ
チとして静岡県が開発したもので、避難所で起こる様々な出来
事としてどう対応していくかを模擬体験するゲーム。

よりよい町づくりのために

調査 しました

各委員会で、
平成23年10月～12月
までの議会閉会中に
調査をしました。

各委員会の説明

総務常任委員会…町の財政、町税、防災、まちづくり等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、健康保険、介護保険、環境衛生等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

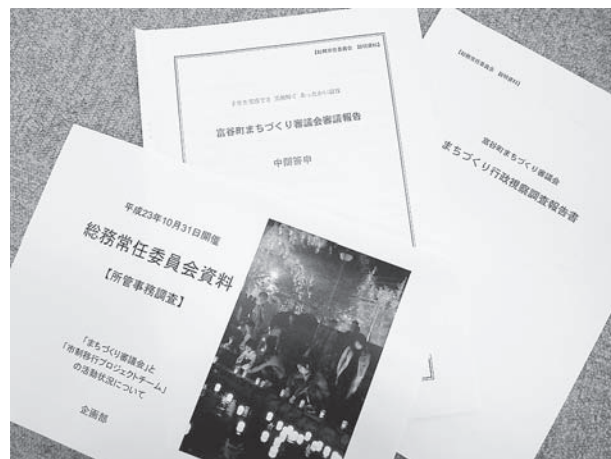
◎調査日 10月31日
企画部長から、まちづくり審議会と市制移行プロジェクトチームの活動状況と今後の見通しについて説明を受けました。
まちづくり審議会は現在2期目に入り、人口5万人都市に向け中長期的なまちづくりの構想を練っている段階です。

中長期の まちづくり活動を調査

調査先：企画部経営企画課

平成21年3月に行った中間答申をふまえ、24年10月に最終答申をまとめる見通しです。
市制移行プロジェクトチームは、①市制移行を視野に入れた現状分析②自治法、県条例に定められた「市」の要件の調査③人口推計等の調査④市

と町の相違点⑤先進自治体の事例調査・研究⑥市制移行の意義の6項目について検討しています。
チームは職員8名で構成し、検討・研究の結果を今後、住民に反映していく考えとしています。



総務常任委員会

平成24年度からの 介護保険計画を検証

調査先：福祉部長寿福祉課

◎調査日 10月27日

介護保険制度の概略、町の第4期計画策定の調査をしました。

第4期計画の策定には介護保険運営委員会があり、「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし、過ごせるまちづくり」を基本理念にしています。



心と体の健康づくりの推進では健康フェスティバルの実施です。

あったか・ほっとな地域づくり事業では町内会などの敬老会の開催です。生活支援事業の拡充では配食サービス、安心して暮らすためには居宅・施設・地域密着型サービス

スがあります。今後の課題として、介護保険料の見直しや施設入所待機者の解消、安心して老後の生活ができる施策が望まれます。

復旧工事の早期着工 完工に努力

調査先：台風被災箇所

◎調査日 11月4日

9月21日の台風15号による町内の総雨量は320ミリ、農地冠水面積は約91haでした。

国庫補助事業対象である①大亀字大沢一番地内水路②今泉鍛冶ヶ沢地内溜池③明石字下向田地内水路の被害状況を現地調査しました。



各委員の質問に対して、「復旧工事着工は鍛冶ヶ沢溜池が発注予定であるが年度内完工は難しく、他は未定です。仮畦畔を作つての米耕作は減反対象とはなりません。土のう袋、土など原材料支給は、地域での了解を得て、水利組合長、行政区長が

らの申請があれば対応していきます。災害復旧補助基準は1カ所40万円以上」との説明が担当課よりありました。復旧工事に関し、諸事情もさることながら、早期着工・完工に鋭意努力することを期待します。

富谷町行政区長及び 行政区長会の 事務と職務権限に関する

調査特別委員会を設置

富谷町行政区長及び行政区長会の手務と職務権限に関する 調査特別委員会の設置に関する決議

下記のとおり、富谷町行政区長及び行政区長会の手務と職務権限に関する調査特別委員会を設置するものとする。

記

1. 名 称 富谷町行政区長及び行政区長会の手務と職務権限に関する調査特別委員会
2. 設置根拠 地方自治法第 110 条及び富谷町議会委員会条例第 5 条
3. 目 的 富谷町行政区長及び行政区長会の手務と職務権限に関する調査
4. 調査項目 ①富谷町行政区長及び行政区長会による職務(事務)と職務権限に関する調査
②富谷町行政区長及び行政区長会による守秘義務に関する調査
③富谷町行政区長及び行政区長会による公印、公費の使用に関する調査
5. 委員定数 19 名(議長を除く全議員)
6. 調査期間 当該調査終了まで閉会中も調査することができる。

提案者説明趣旨

富谷町行政区長会会長から富谷町議会の副議長あてに、議員に対し地方自治法第 127 条による議員失職を求める文書が届けられました。

議員を失職させるという要求が、行政区長会会長の名においてなされた事実は大変重いと考えます。個人の基本的人権にかかわる問題であるとともに、町議会議員選挙における、有権者の投票結果をも否定するという結果になりかねない重大問題だと思えます。自由な社会を保障する民主主義の基本にかかわる問題であり、議会としてこれを看過するわけにはいかないものと考えます。

このような活動が地方公務員の特別職である区長及び区長会の事務と職務権限に照らして適切なものであるかどうか、これを検証するということが議会の責務であると考え、十分な議会での調査を行うために、調査特別委員会の設置を提案しました。

質 疑

Q これは区長会での議論の結果であり、公印などの問題でないと思います。区長会から提出されている内容のほうが大事であり、提出された内容も調査できる特別委員会にするべきで、調査項目を訂正できませんか。

A 両者の言い分が聞けるような調査項目にすべきとのことですが、法律とルールに則って動く議会としては、証拠書類がないものを調査すること自体、難しいと思います。

Q 調査事項ですが、富谷町行政区長に関する規則第4条について任務が明記されています。それから富谷町行政区長及び行政区長会に対する守秘義務に関する調査については、行政区長は地方公務員法第3条第3項に基づく非常勤の特別職です。

したがって、調査項目①、②は当たりません。

それから③については、富谷町行政区長及び行政区長会による公印、公費の使用に関する調査ですが、行政区長会は財団とか社団法人のように公的団体ではありません。任意の団体ですので、このような特別委員会設置の発議を出すことは、行政区長会の民主的、自主的な組織活動を制限することになりませんか。

A 富谷町行政区長に関する規則では、任務の中に、行政区長は次の各号に掲げる事務を行うということで、

(1) 議会だより、県政だより及び広報紙の配布に関すること。

(2) 町の執行機関の依頼する文書の配付に関すること。

(3) 町内会等の区域内の行政事務の連絡に関すること。

(4) 町長が特に指示する調査に関すること。

(5) 町と町内会等の住民との連絡協調に関すること。

(6) その他町長が特に必要と認める事項に関すること

とあります。今回のことが執行機関の依頼する文書の配布等々や町長が特に指示する調査なのか、あるいはその他町長が特に必要と認める事項に関することなのか、この辺に絞り込まれると思います。町長が指示したということにもなりかねないという、実に重大な問題です。この第4項で、町長が指示してこの文書を配つたのではないというのであれば、それも証明し調査をしなければならぬと考えます。

特別委員会設置について反対討論します。

この発議の前提には、平成23年11月21日に副議長相澤榮氏に提出された「浅野幹雄氏の議員失職を求める文書」に、区長会会長の公印が使用されている事からが発議と思われる。区長会での議論の結果

であり、公印がどうこの問題ではないと思われる。それよりも区長会より提出されている内容の方が大事と思われる。議会として区長会より提出された内容も調査できる特別委員会にすべきであり、これだけの発議内容提出に反対します。

反対 渡邊 俊一

調査項目の内容が不足のため反対

討 論

規則に照らしても調査必要

賛成 小川 昌義

議員へ郵送された文書は、11月22日消印のもので、極めて手順がよいものです。この文書が私たちに正式に配布されたのは定例議会案配布と同じ日です。自治法127条は議

員の失職を決めるものであり、議員が提案すべきものです。行政区長に関する規則と、区長会に関する調査すべきだと思います。



第12回

町民の声

アロハ・フラ富ヶ丘

合言葉は

「元気で美しく、そしてアロハ」

今回は、十三夜魂のふるさとまつりでも活躍された「アロハ・フラ富ヶ丘」会長の相田さんにお話を伺いました。

Q 結成はいつですか。

A 平成10年頃です。メンバーの構成は。

A 24人で、新しく5人加わりました。50歳代から80歳代までです。

Q 練習はどのようなしていますか。

A 富ヶ丘公民館で毎週水曜日、午前10時から12時まで練習しています。

Q 活動状況は。

A 毎月1回は、練習後3時から30分程度ですが、近くの老人ホーム「和風園」でボランティアとしてフラダンスを踊り喜ばれております。他に町内の夏まつり、仙台七夕まつり等でフラの魅力を表現し



ております。

Q 衣装や振り付けは。

A 年に一度イズミティ21で合同発表会があり、それに合わせてドレスを新調しています。先生の指導を頂き、今では20曲くらいにレパートリーが増えました。

Q フラの魅力は。

A フラは手話が振り付けに入っており、健康にも良く、メンバーとの練習後の食事会や、年1回の1泊旅行など楽しみが一杯です。

Q 議会への要望は。

A サークルの仲間と是非議会を傍聴したいです。

今号の表紙

たくさんの応募ありがとうございました。



左から 加藤梓乃ちゃん(姉)・梨乃ちゃん(妹)
(平成23年2月19日生まれ)《鷹乃杜》

生まれて間も無くの震災を乗り越え地域の方に支えられて元気いっぱいです。

次号表紙 ふたごちゃんの 写真募集

〈平成24年5月1日発行予定〉

(応募要項)

①題材…

「就学前の双子

(三つ子も可)」

②応募〆切…

平成24年4月3日(火)

(消印有効)

③作品は未発表のものであり、他に発表予定のないものに限りです。

④カラー写真(アナログ

写真・デジタル写真どちらでも可)

加工は不可

サイズは紙焼プリント

2Lサイズ以上

⑤採用作品の版權・使用

権は富谷町議会に属し

ます。なお、作品の返

却はしません。

※その他詳細については

お問い合わせください。

編集後記

昨年を表す文字は「絆」でした。

辞書をひくと、絶たうにも断ち切れない人の結びつきとあります。

大震災被害に対し、国内を始め世界中が「絆」で結ばれ義援を送ってくれました。

人が孤立化してきた現代社会で、人の結びつきの大切さを改めて感じた大震災でした。

我が富谷町でもたくさんの方が被害に遭われ、今、復興に懸命の努力をされています。

まだまだ「絆」が必要です。「絆」を太く、絶やさず、力強いものにしていかねばなりません。

さて、今年は辰年、天に登る龍の如き「起つ年」にしたいですね。

編集副委員長 小泉 光